

# いばらき教員応援団

For the future of Ibaraki children

No.10

## 令和元年度の事業内容をご報告いたします



合同研修会 井村 雅代 氏

### 令和元年度事業概要

目的	日本を代表する一流講師による講演会を開催し、講話を通して、総合的な教師力の向上に資することを目的とする。
対象者	市町村立小・中学校等、県立高等学校等、県立特別支援学校 ・新任校長・副校长 ・新任教頭 ・新任教務主任
研修会	○合同研修会 8月20日(火) ホテルレイクビュー水戸 飛天の間 ○グループ別研修会 6月24日(月)、7月4日(木)、7月29日(月) ホテルレイクビュー水戸 飛天の間
講師派遣	○2019年度若手教員[初任者]研修講座 4月17日(水) ○茨城県市町村教育委員会教育委員研修会 10月30日(水)

### ごあいさつ



「日本の世の中全体が、あらゆる分野で、非常に悪くなっている。このままでは日本の将来は大変なことになる。」

それには、学校の先生方皆様に高い志のもと高い理想のもと大いに奮い立っていただき、次の時代を担う青少年を子供達を正しく育成させていただく他に道はない」との思いで「いばらき教員応援団」を発足させ、多くの皆様のご支援ご協力に依り、9年目の事業を無事終了することができました。

研修に参加されました多数の先生方が、講演内容に感動され、その気付きからこれからの教育活動に生かされるものと思っております。事業を運営していくなかで、責任者として確かな手応えを感じ、今後も、県民運動の一環として茨城の教員を応援し、そのことによって茨城の教育力の向上を目指してまいります。

ここに広く、県民の皆様の、この事業へのご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

理事長  
高野 英一

# For the future of Ibaraki children

## 合同研修

8月20日(火) ●新任校長・副校長・教頭・教務主任 [参加者 652名]

### 演題

人を育てる  
～愛があるなら叱りなさい～



●講師

井村 雅代 氏

井村アーティスティックスイミングクラブ代表。

2014年4月から日本代表コーチに復帰し、2016年のリオ五輪では、デュエットが2大会ぶりに、チームでは3大会ぶりのメダルをもたらすなど、世界に通用する選手育成に貢献している。

### 受講者の感想より

「才能を待つのではなく、創り上げる」のだというお考えに深く感銘しました。教職員、生徒が力不足であれば、それは校長である自分自身の力不足、「仕方がない」を口にせず、頑張っている教職員や生徒のために何ができるかを真摯に考え実践に移すことを再認識しました。(中学校 校長)

講演中、ずっと圧倒されっぱなしでした。「世界」を相手に戦い実績を残してきた、まさに百戦錬磨の井村先生の言葉は、とても強く説得力に溢れ、時が経つのを忘れて惹き込まれた。「本当の努力」の大切さを井村先生は体を張って選手に伝えてきた。だから選手に伝わり、選手もそれに応えた。人間が人間を動かすのは「心」なのだとあらためて思う。(高等学校 教頭)

教師の大きな役目は、子どもの心のスイッチを入れ背を押してやること。そして、心の才能に火を付け自分の中にあるもの全て出させることだと痛感しました。本気で向き合えば、必ず子どもは心を開くことを信じ、教頭として自らが先頭となり本校職員の姿勢を再認識して実践していくたいと思います。(小学校 教諭)

「無理をしなさい・力を出しなさい」「1mmの努力」この言葉は特に、私の心に刺さりました。児童生徒に秘められた今ある力を納得するまで、とことん発揮させる手立ての工夫、また、達成感や成就感を抱かせるための目標設定の工夫。教育現場に欠かせない手立てへのヒントをいただきました。(小学校 教諭)

## グループ別研修

6月24日(月) ●新任校長・副校長 [参加者 207名]

### 演題

歴史が教えてくれる日本人の生き方



●講師

白駒 妃登美 氏

大病を患った経験から、命を紡ぐことの大切さを実感し、結婚コンサルタントとして活動する傍ら、歴史講座を始める。講座では、「こんな歴史の先生に出会いたかった」と涙する参加者が続出。現在は、年間150回を超える講演を行っている。

### 受講者の感想より

一番心に残ったのは、「夢と志は違う」ということです。夢は個人のもので、志は引き継がれるものということ。これは非常に腑に落ちました。校長として勤務していると、志の尊さに気づかされることがたくさんあります。白駒先生のお話を聞いて、私の考えは間違っていたなと確信いたしました。(小学校 校長)

白駒先生の情感あふれる講話を聞きし、リーダーとして「志をもつ」「今を生きる」「徳を積み重ねる」ことの大切さを改めて考えることができました。今回の研修で最も大切なことは、自分自身の人間力を高めることであることを強く感じました。(中学校 校長)

教育に携わる者として、先人の生き方や考え方から志や思いを学び、これから日本の担っていく子どもたちに日本人としての志や思いを伝え、感化できる人間力を意識し、日々取り組んで生きたいと思います。(高等学校 校長)

心に残ったのは、「武士の精神はゴールがなく、相手との勝ち負けではなく己に打ち勝つことだ」です。これこそが日本人の追い求めた精神であり、私も「教師道」をつらぬき、死ぬ時が最高の自分になれるように努力していきたいと思いました。(特別支援学校 校長)

## グループ別研修

7月4日(木) ●新任教頭[参加者 270名]

### 演題

## 素直な心を学ぶ



●講師

池田 繁美 氏

「素直な心は、よりよい生き方を生み出す」という信念のもと、人格向上のための「素心学」を学ぶ場として、〈素心学塾〉〈耕心塾〉を主宰。また、「経営者のための人間学」「中小企業のための実践財務」「事業計画の立て方」等のテーマで商工会議所、青年会議所、など全国各地で講演活動を行っている。

### 受講者の感想より



池田先生の柔らかな口調と表情、まさに「素心」を表現されていると感じました。自分自身も「日常の心がけ」を大切にするとともに、職員や子どもたちにも伝えたいと思いました。九州の研修所に行くことは難しいですが、今回の講話や資料振り返り、今後も生かしていきたいです。(小学校 教頭)



池田先生の御講話から学んだ、「心の癖を真っ直ぐにするための取組」をこれからの自分の生活で意識しながら、これから職務にあたっていかなければいけないと強く考えさせられました。(小学校 教頭)



冒頭の「教育は教育者の人格を他の人に移し替える営み」という言葉に強い衝撃を受けた。これからは、今まで以上に、素直な心を養い、高潔な徳を身に付けた「人」になれるよう、気を引き締めて日常生活を送り、毎日の業務にあっていくことを決意した。(高等学校 教頭)



「人間の大病は『傲り』これ一字なり。」これが池田先生の講演で印象に残った言葉である。教頭になった今、校内外の方々から頭を下げられることが多くなった。傲らず、謙虚に学び続けることを忘れず、池田先生が示した「師表徳化(自ら手本となり、周りを感化する)」を心掛けて職務に励みたい。(特別支援学校 教頭)

## グループ別研修

7月29日(月) ●新任教務主任[参加者 348名]

### 演題

## 魂を揺さぶる本気教育 (感動は人を動かす)



●講師

木下 晴弘 氏

「感動が人を動かす」をモットーに、学力だけではなく人間力も伸ばす指導は、生徒、保護者ばかりでなく、企業関係者からも絶大な支持を受けている。著書『涙の数だけ大きくなる』(フォレスト出版)、『全国高校入試問題正解と分析 解答』(学研)、『できる子にする「賢母の力」』(PHP研究所)他多数。

### 受講者の感想より



「感動」まさに、この一言に尽きる講演でした。90分間が瞬く間に流れていきました。同じ90分であっても人は、こうも濃密で、会場全体を魅了する時間を創り上げることができるのか、という心地よいショックを受けました。そして、それは「君の学校での取組はどうなんだい?」と心の奥底に問われている感覚でもありました。(小学校 教諭)



「人は誰でも、何か役割があつて生まれてきた」の言葉から、私の役割って何だろうと考えました。この講演をきっかけに、自分の存在の承認ができ、前向きな気持ちになり、努力しようというやる気がわいてきました。人は考え方や気持ちの持ちようで、こんなにも大きく変わるので実感しました。(中学校 教諭)



「学校が楽しい!」「明日も早く学校に行きたい!」生徒や私たち教師が毎日そう思えるような「学校」を作っていきたい。講演をうかがった翌日、そんな思いが浮かんだ。「学校」を生徒や教師の心の居場所にしていきたい。そう確信した大変感動的な講演でした。(高等学校 教諭)



教師として、親として、これからを生きていく子どもたちに何が必要で何が大切なことを考えさせられました。「人に与えたものは必ず自分に還る」を心に留め、私自身も自分の存在そのものの承認をし、努力を惜しまず、自己実現を図っていきたいと思いました。(特別支援学校 教諭)

## 講師派遣

●講師 上甲 晃 氏

- 研修会 若手教員[初任者]研修講座[参加者 828名]
- 演題 「もって、範を示す」

●講師 池田 繁美 氏

- 研修会 茨城県市町村教育委員会研修会[参加者 126名]
- 演題 「素直な心を学ぶ」(素心学)

# いばらき教員応援団へのメッセージ

今回の貴重な研修の機会を企画してくださった高野理事長様をはじめいばらき教員応援団の皆様、本当にありがとうございました。今回の研修で元気をいただいた気がします。2学期からの勤務も児童と一緒に元気に頑張っていきたいです。(小学校 教頭)

今回の研修で自分の足下をしっかりと見つめ、経営者として、教育者としての心構えを新たにすることことができました。このような貴重な機会を与えていただいたことに、高野英一理事長様はじめ、関係者の皆様に感謝申し上げます。(中学校 校長)

## 事業計画

### ○ 合同研修会

7月29日(水)  
ホテルレイクビュー水戸 2階 飛天の間  
講師:大宅 映子 氏

### ○ グループ別研修会

7月 2日(木) 新任校長・副校長  
8月25日(火) 新任教頭  
6月22日(月) 新任教務主任  
ホテルレイクビュー水戸 2階 飛天の間

### ○ 講師派遣

若手教員[初任者]研修講座  
講師:上甲 晃 氏  
茨城県市町村教育委員会研修会  
講師:木下 晴弘 氏

## いばらき教員応援団〈役員一覧〉

### 【役員】

理事長  
高野 英一 タカノフーズ株式会社  
専務理事  
打越 芳男 株式会社打越製材工場  
常任理事  
加藤 啓進 茨城日産自動車株式会社  
常任理事  
沼尻 博 沼尻産業株式会社  
常任理事  
渡邊 武 茨城県信用組合  
理事兼事務局長  
石原 道明 元城里町教育委員会教育長

副理事長  
幡谷 浩史 茨城トヨタ自動車株式会社  
常任理事  
大久保 博之 茨城県商工会議所連合会  
常任理事  
関 正夫 関彰商事株式会社  
常任理事  
諸岡 信裕 社団法人茨城県医師会  
監事  
和田 芳武 ネッツトヨタ茨城株式会社

### 【幹事】

鬼澤 慎人 株式会社ヤマオコーポレーション  
鯨岡 則雄 株式会社大宮自動車教習所  
鈴木 勝彦 株式会社鈴木良工務店  
幡谷 史朗 茨城トヨタ自動車株式会社  
和田 幾久郎 株式会社祐月本店

加藤 敏彦 茨城日産自動車株式会社  
坂場 英利 株式会社白英社  
関 正樹 関彰商事株式会社  
藤田 卓也 株式会社フジタビジネスマシンズ

今後も広く県民の皆様のご参加をお願いいたします

### 〈趣旨に賛同される方へ〉

趣旨に賛同される方は、本リーフレットに添付されております「いばらき教員応援団入会申込書」に必要事項を記入の上、下記の問い合わせ先に郵送でお申し込みください。ホームページからも入会申込書がダウンロードできます。

いばらき教員応援団 <http://www.ibaraki-tcp.jp>

### 【問い合わせ先】

茨城県教育庁高校教育課内 いばらき教員応援団事務担当

〒310-8588 茨城県水戸市笠原町978-6 TEL.029-301-5260